

# 平成 29 年度 一番茶萌芽・生育状況報告

佐賀県茶業試験場

## 1. 萌芽期

本 年	前 年	平 年
4 月 13 日	4 月 3 日	4 月 1 日

注) 平年値は前 5 か年の平均。

## 2. 生育状況

調査日		4 月 10 日	4 月 15 日	4 月 20 日	4 月 25 日	4 月 30 日	5 月 5 日
芽 長 (cm)	本年	-	-	3.21 ± 0.77	6.07 ± 1.10	9.57 ± 1.33	13.59 ± 2.02
	前年	2.03 ± 0.69	4.13 ± 0.93	6.83 ± 1.16	10.04 ± 1.52	12.98 ± 1.82	-
	平年	1.70 ± 0.60	2.99 ± 0.84	5.82 ± 1.28	8.27 ± 1.57	11.47 ± 1.86	-
葉 数 (枚)	本年	-	-	1.06 ± 0.40	2.11 ± 0.38	3.20 ± 0.50	4.34 ± 0.46
	前年	1.35 ± 0.44	2.48 ± 0.49	3.34 ± 0.43	4.19 ± 0.40	4.68 ± 0.52	-
	平年	1.22 ± 0.60	1.96 ± 0.50	2.91 ± 0.49	3.72 ± 0.46	4.53 ± 0.53	-

## 3. 晩霜と最低気温

終霜月日	本年 4 月 4 日(2.9 )	前年 3 月 29 日(2.7 )
最低極温	本年 1 月 25 日(-5.4 )	前年 1 月 24 日(-6.8 )

注) 終霜月日は最低気温 4 以下を目安に判断した。

## 4. 供試茶園の概況

- (1) 品 種 名 : やぶきた
- (2) 樹 齢 : 45 年生
- (3) 栽植様式 : 畝幅 180cm、株間 50cm、条間 50cm (二条植え)
- (4) 樹 高 : 71cm
- (5) 株 張 り : 164cm
- (6) 施 肥 量 : N : P : K = 50 : 20 : 18 kg/10a (年間 7 回分施)

## 5 . 概要

### 1 ) 気象条件(茶業試験場内観測)

#### (1) 気温

1月上旬の平均気温は7.1 で、前5か年平均値(以下、平均値と示す)より約3 高く推移した。1月中旬から2月中旬までの平均気温は平均値並みであったが、2月下旬から3月下旬にかけて平均値よりやや低く推移した。

一番茶新芽生育期の4月上旬と下旬の平均気温は概ね平均値並みで、4月中旬は平均値より1.8 高かった。

#### (2) 降水量

積算降水量は、1月46.0mm(平均値比74%)、2月118.0mm(平均値比94%)、3月56.0mm(平均値比38%)は平均値より少なかったが、4月251.5mm(平均値比120%)は平均値より多かった。1月から4月までの期間降水量は平均値比86%であった。

#### (3) 日照

積算日照時間は、1月141.7時間(平均値比115%)、2月152.6時間(平均値比136%)、3月164.0時間(平均値比95%)、4月185.7時間(平均値比108%)であり、3月の日照時間は平均値より少なかったが、1、2、4月の日照時間は平均値より多かった。

#### (4) 降霜

一番茶萌芽前の4月3、4日に低温(最低気温1.2、2.9)に遭遇したが、萌芽期以降の降霜はなかった。最終降霜日は4月4日であった。

### 2 ) 萌芽後の生育状況

本年の萌芽期は、4月13日で、前年より10日、平年より12日遅かった。萌芽期以降、平均値並みの気温上昇、特に4月中旬の気温が平均値より高く推移したことから、新芽の伸長、葉の展開が進んだ。摘採日は前年より8日、平年より10日遅かった。

萌芽から摘採までの所要日数は、25日間(積算温度428)と平年の28日間(積算温度394)より3日短かった。

### 3 ) 病害虫の発生状況

作況調査園において、一番茶の生育および収量に影響を及ぼすほどの病害虫の発生はなかったが、作況調査園とその周辺茶園では全般的にコミカンアブラムシの発生とツマグロカスミカメによる被害がみられた。

# 平成 29 年度 一番茶実収報告

佐賀県茶業試験場

## 1. 摘採日

本 年	前 年	平 年
5 月 8 日	4 月 30 日	4 月 29 日

注) 平年値は前 5 か年の平均

## 2. 生葉収量 (kg/10a)

本 年		前 年		平 年	
収 量	指 数	収 量	指 数	収 量	指 数
721.5 ± 81.6	118	607.0 ± 91.0	100	609.2 ± 46.1	100

## 3. 百芽重 (g)

本 年		前 年		平 年	
重 量	指 数	重 量	指 数	重 量	指 数
92.1 ± 13.0	143	76.0 ± 9.0	118	64.3 ± 5.9	100

## 4. 新芽数 (本/m<sup>2</sup>)

本 年		前 年		平 年	
芽 数	指 数	芽 数	指 数	芽 数	指 数
1225 ± 123	82	1291 ± 146	87	1492 ± 148	100

## 5. 出開度 (%)

本 年	前 年	平 年
44.0 ± 12.3	31.9 ± 12.8	44.7 ± 11.1

## 6. 作況調査園の概要

### 1) 摘採日

本年の摘採日は 5 月 8 日で、前年より 8 日、平年より 9 日遅かった。

### 2) 収量

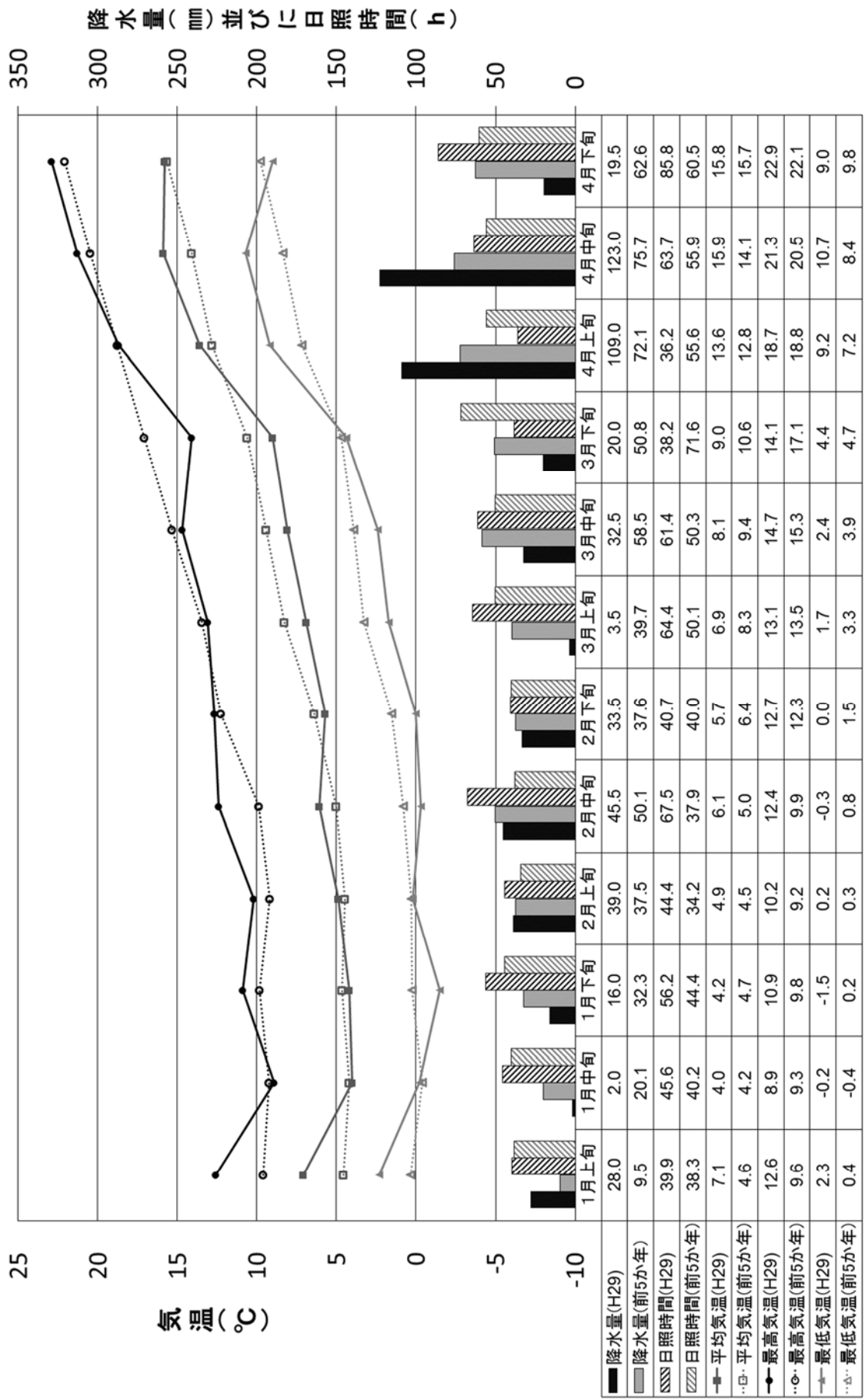
本年の収量は 722 kg/10a で、前年および平年よりも約 18% 多収であった。

## 7. 本県の概要

1 月下旬に冷え込みが観測されたが、新芽の生育への影響は見られなかった。2 月下旬から 3 月下旬の平均気温が平均値よりも低く、周辺地域において早生～中生品種の萌芽期は大幅に遅れる傾向であった。4 月の平均気温は平均値よりも高くなったことから、新芽生育も順調に進んだ。

病害虫の発生状況について、一番茶の生育および収量に影響を及ぼすほどの病害虫の発生はなかったが、全般的にコミカンアブラムシの発生とツマグロカスミカメによる被害がみられた。

# 気象概況 (平成29年1月～4月・嬉野市)



注) 測点:嬉野アメダスポイント